



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠食品株式会社

コード番号 2692 URL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 社長執行役員 （氏名）岡本 均

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経経本部本部長 （氏名）濱田 英樹 TEL 03-5411-8595

半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年11月25日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	365,764	3.8	5,857	17.9	6,841	△2.7	5,152	△0.1
2025年3月期中間期	352,385	4.0	4,969	15.2	7,028	39.2	5,157	46.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 7,384百万円（43.3％） 2025年3月期中間期 5,155百万円（△17.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	406.12	—
2025年3月期中間期	406.50	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	286,331	121,960	42.6
2025年3月期	271,551	115,592	42.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 121,937百万円 2025年3月期 115,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
2026年3月期	—	80.00			
2026年3月期（予想）			—	80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720,000	2.9	9,700	14.0	11,400	1.0	8,300	1.2	654.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	12,720,000株	2025年3月期	12,720,000株
2026年3月期中間期	33,091株	2025年3月期	33,091株
2026年3月期中間期	12,686,909株	2025年3月期中間期	12,686,948株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明資料の入手方法）

決算説明資料は2025年10月31日（金）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
3. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復傾向が続いており、個人消費には持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、米国の通商政策による世界情勢への影響などが景気の下振れリスクとなり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品流通業界におきましては、原材料価格、人件費や物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続するなかで、消費者の節約志向により買上点数の減少や低価格・PB商品へのシフトが進んでおります。一方で、高付加価値商品や差別化商品は引き続き堅調な動きを示していることに加え、「タイパ」、「コスパ」等の価値観のシフトが見られる等、消費者行動の多様化、複雑化が進んでおります。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Transform 2025～創造と循環～」の最終年度である今期の単年度副題を“Catch the Market Phase 2”とし、市場の変化を捉える力を競争力へと昇華させることでビジネスの拡大に注力しております。重点分野として掲げた「情報」分野では、他社との連携強化を図り、当社が展開する広告を放映可能なデジタルサイネージは約1万9千台まで拡大しました。また、チラシ等店舗への送客を図るアプリと店内のデジタルサイネージを連動させることで、より効果的に消費者へ放映コンテンツを訴求する取り組みを開始しました。「商品開発」分野においては、当社オリジナル冷凍食品の「凍眠フルーツ」で沖縄県産パイナップルなどの取扱いを開始する等、産地の多様化とラインアップの拡充を行いました。また今後の需要期に向けて、オリジナル性に富む高付加価値なおせちやクリスマスケーキを開発し提案を進めました。「物流」分野においては、入荷待機時間の削減やトラックの積載効率改善に向けて食品流通業界全体で取り組むとともに、デジタル技術を活用した庫内生産性の向上を図り、生産性向上となる施策を推進しております。

サステナビリティへの取り組みでは、2023年度に設定した非財務目標の達成に向けて取り組むとともに、非財務情報を含めた情報開示の拡充を進めております。引き続き温室効果ガス排出量や食品廃棄量の削減、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進、健康経営推進等、各マテリアリティに掲げた項目への取り組みを推進し、持続的な成長を目指してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は、主にGMS・スーパーマーケットやCVS向けの取引拡大、並びに記録的な猛暑により飲料が好調を維持したほか、RTDやノンアルコール飲料の伸長により前年同期比13,378百万円(3.8%)増収の365,764百万円となりました。

利益面では、増収に加え低重心経営の徹底による経費改善等により、営業利益は前年同期比888百万円(17.9%)増益の5,857百万円、経常利益は前年の一過性の持分法投資利益増加の反動を受け前年同期比187百万円(2.7%)減益の6,841百万円となりました。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比5百万円(0.1%)減益の5,152百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は286,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,780百万円の増加となりました。これは取引拡大や記録的な猛暑による飲料などの需要増等により、未収入金が5,900百万円、売上債権が5,030百万円、グループ預け金が2,000百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債は、164,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,412百万円の増加となりました。これは、売上債権の増加と同様の要因により、仕入債務が5,958百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、121,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,368百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が4,137百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは3,523百万円の収入となり、前年同期と比べ13,344百万円の収入の増加となりました。これは休日要因の影響減などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは277百万円の収入となり、前年同期と比べ524百万円の収入の減少となりました。これは、貸付金の回収による収入が1,197百万円減少したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,270百万円の支出となり、前年同期と比べ247百万円の支出の増加となりました。これは、配当金支払による支出が254百万円増加したことなどによるものであります。

現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比2,530百万円増加の15,177百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において2025年4月30日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,446	1,977
受取手形及び売掛金	101,002	106,031
商品及び製品	22,668	21,111
未収入金	28,134	34,034
グループ預け金	54,200	56,200
その他	408	500
貸倒引当金	△66	△76
流動資産合計	207,792	219,776
固定資産		
有形固定資産	13,477	12,667
無形固定資産	4,093	4,516
投資その他の資産		
投資有価証券	36,706	39,879
長期貸付金	84	83
繰延税金資産	144	132
退職給付に係る資産	1,593	1,631
差入保証金	7,276	7,296
その他	409	374
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	46,190	49,373
固定資産合計	63,760	66,555
資産合計	271,551	286,331
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,598	133,556
リース債務	496	486
未払金	13,950	14,979
未払法人税等	1,816	2,373
賞与引当金	1,274	1,016
役員賞与引当金	108	28
その他	298	331
流動負債合計	145,540	152,770
固定負債		
リース債務	3,110	2,910
繰延税金負債	4,715	5,579
資産除去債務	1,230	1,229
退職給付に係る負債	301	308
その他	1,064	1,576
固定負債合計	10,419	11,602
負債合計	155,959	164,372

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,165	7,165
利益剰余金	89,449	93,587
自己株式	△115	△115
株主資本合計	101,423	105,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,362	16,570
退職給付に係る調整累計額	△213	△192
その他の包括利益累計額合計	14,149	16,377
非支配株主持分	21	22
純資産合計	115,592	121,960
負債純資産合計	271,551	286,331

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	352,385	365,764
売上原価	331,583	344,067
売上総利益	20,803	21,697
販売費及び一般管理費	15,834	15,840
営業利益	4,969	5,857
営業外収益		
受取利息	80	191
受取配当金	524	568
不動産賃貸料	135	164
持分法による投資利益	1,271	42
その他	144	123
営業外収益合計	2,153	1,087
営業外費用		
支払利息	37	33
不動産賃貸費用	48	61
その他	8	8
営業外費用合計	93	103
経常利益	7,028	6,841
特別利益		
投資有価証券売却益	10	41
固定資産売却益	—	527
特別利益合計	10	568
特別損失		
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前中間純利益	7,021	7,409
法人税、住民税及び事業税	1,703	2,312
法人税等調整額	160	△58
法人税等合計	1,863	2,254
中間純利益	5,158	5,155
非支配株主に帰属する中間純利益	1	3
親会社株主に帰属する中間純利益	5,157	5,152

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,158	5,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	2,160
退職給付に係る調整額	△1	21
持分法適用会社に対する持分相当額	16	48
その他の包括利益合計	△3	2,229
中間包括利益	5,155	7,384
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,154	7,381
非支配株主に係る中間包括利益	1	4

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,021	7,409
減価償却費	882	844
持分法による投資損益 (△は益)	△1,271	△42
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	△41
投資有価証券評価損益 (△は益)	17	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△527
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△129	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△202	△258
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△35	0
受取利息及び受取配当金	△604	△759
支払利息	37	33
売上債権の増減額 (△は増加)	3,196	△5,030
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,389	1,557
未収入金の増減額 (△は増加)	△5,517	△5,806
差入保証金の増減額 (△は増加)	△49	△17
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,366	5,958
その他	△847	1,306
小計	△10,266	4,637
利息及び配当金の受取額	2,396	687
利息の支払額	△36	△32
法人税等の支払額	△1,914	△1,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,820	3,523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
グループ預け金の預入による支出	△18,000	△18,000
グループ預け金の払戻による収入	18,000	18,000
有形固定資産の取得による支出	△182	△181
有形固定資産の売却による収入	—	953
無形固定資産の取得による支出	△148	△511
投資有価証券の取得による支出	△88	△100
投資有価証券の売却による収入	21	118
貸付金の回収による収入	1,197	0
その他	0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	800	277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△260	△253
配当金の支払額	△761	△1,015
非支配株主への配当金の支払額	△1	△2
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	△1,270
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,043	2,530
現金及び現金同等物の期首残高	17,915	12,646
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,872	15,177

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)及び
当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社及び連結子会社の報告セグメントは、食料品卸売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売の状況

①商品分類別売上高

商 品 分 類	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ビール類	79,671	22.6	78,197	21.4	△1,474	△1.8
和洋酒	55,182	15.6	58,357	16.0	3,175	5.8
調味料・缶詰	55,896	15.9	57,825	15.8	1,929	3.5
嗜好品・飲料	94,288	26.8	99,908	27.3	5,620	6.0
麺・乾物	24,551	7.0	27,479	7.5	2,928	11.9
冷凍・チルド	13,572	3.9	15,247	4.2	1,675	12.3
ギフト	16,681	4.7	15,968	4.3	△713	△4.3
その他	12,544	3.5	12,783	3.5	239	1.9
合 計	352,385	100.0	365,764	100.0	13,378	3.8

(注) R T D (Ready To Drinkの略。缶チューハイ等のアルコール飲料。)の売上高は「和洋酒」に含んでおります。

②業態別売上高

業 態	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
卸売業	18,808	5.3	20,350	5.6	1,541	8.2
百貨店	8,035	2.3	7,921	2.2	△114	△1.4
GMS・SM	187,090	53.1	191,276	52.3	4,186	2.2
C V S	39,013	11.1	45,050	12.3	6,037	15.5
ドラッグストア	41,617	11.8	41,015	11.2	△601	△1.4
その他小売業	43,117	12.2	45,142	12.3	2,025	4.7
その他	14,705	4.2	15,010	4.1	305	2.1
合 計	352,385	100.0	365,764	100.0	13,378	3.8

(注) 1 GMSはゼネラル・マーチャンダイズ・ストアであります。

2 SMはスーパーマーケットであります。

3 C V Sはコンビニエンスストアであります。